

「事業の概要及び測量などの実施に関する説明会」質疑応答の概要 (平成21年12月11日(金)調布市立緑ヶ丘小学校)

本資料は平成21年12月11日(金)調布市立緑ヶ丘小学校で開催された「事業の概要及び測量などの実施に関する説明会」での質疑応答の概要を国土交通省東京外かく環状国道事務所が取りまとめたものです。

質問者

- ・ 「対応の方針」は課題を整理しただけで回答として住民は認めていない。「対応の方針」についての国の見解はいかがか。
- ・ 平成22年度予算がつかない場合、今回実施する測量、地質調査、井戸調査は無駄になるのではないか。
- ・ 井戸調査は、計画線外の家屋も対象になるのか。
- ・ 三日月地域は、外環の影響を最も受ける地域であるが、具体的な対応策はどうなっているのか。

回答者

(国)

- ・ 「対応の方針」は、課題検討会などで頂いた意見を基に、今後、検討すべき課題に対して、事業のどの段階でどのように対応するかを示したものである。今後、事業の各段階で引き続き皆様のご意見を頂きながら詳細に検討する。
- ・ 来年度予算は、現時点では未定である。一方、今年度の補正予算のうち調査、設計のための予算は執行停止となっておらず、今回測量、地質調査、井戸調査を実施するものである。
- ・ 今回の井戸調査は、計画地内および計画地に部分的にでも入っている可能性があるお宅を対象として範囲を設定している。それ以外の周辺のお宅については、工事前の段階に調査する予定である。
- ・ 三日月地域は測量、地質調査などの結果を基に構造物の設計やジャンクションの上部空間の検討などを進める。その際には、地域の皆様の意見をお聴きし関係機関と連携を図りながら検討する。
- ・ また、生活道路への通過交通に対しては、ランプや狭さくなどの整備が必要になった場合は、関係機関と連携して検討を進める。
- ・ 現在のコミュニティや生活環境への影響は出来るだけ小さくなるような検討を進めていく。

(調布市)

- ・ 三日月地域については、地域コミュニティの分断、生活道路に進入する通過交通などの問題から、市域における最大の懸案事項と認識している。市としては、懸念される内容を解決するとともに、まちづくりについても併せて検討していきたいと考えている。検討にあたっては、外環本線の構造などの検討、周辺区市の動向も踏まえて、地元の意見を聴きつつ、総合的に考えていく。

質問者

- ・ 本日の説明会は、都市計画法に基づく事業説明会なのか。
- ・ 都市計画法第 66 条に基づく事業説明会は実施するのか。いつ実施するのか。

回答者

(国)

- ・ 本日の説明会は、都市計画法に基づく事業説明会ではない。今後実施する測量、地質調査などの内容や事業の概要について説明する目的で開催している。
- ・ 都市計画法に基づく事業説明会については、開催するかどうかも含めて、今後の事業進捗や様々な手続きの状況などを踏まえて検討することとしており、現時点では未定である。

質問者

- ・ 平成 22 年度予算の要求内容や見通しはどうか。
- ・ 今回の説明会の質疑応答の時間が短い。延長すべきではないか。

回答者

(国)

- ・ 来年度予算については、現在検討中である。予算は、国会の予算審議を経て決まるものであり、現時点では未定である。
- ・ 本日の説明会終了後、個別の質問に対応する時間を設ける。また、1 月にオープンハウスを開催する方向で調整する。

質問者

- ・ 既に供用している埼玉の外環では、誘発交通により渋滞は緩和していないのではないか。また、大気環境が悪化するのではないか。

回答者

(国)

- ・ 整備効果などで示している交通量推計において、予測可能な誘発交通は見込んでいる。
- ・ 大気環境への影響については、環境影響評価で予測評価している。また、東京都の環境影響評価条例に基づく事後調査を実施し検証する。

質問者

- ・ 外環の事業費の総額はいくらか。
- ・ 外環の完成までにかかる期間はどれ位か。

回答者

(国)

- ・ 外環の関越から東名までの概算事業費は、約 1.28 兆円を見込んでいる。これは、新技術の採用や他の路線のコスト縮減の実績を踏まえて積み上げたもの。
- ・ 今後、競争性の高い契約方式の採用や、合理的な施工方法の採用など、さらなるコスト縮減に努める。
- ・ なお、事業期間については、現時点では未定である。

質問者

- ・ 将来の世代にとって、負の遺産となる予算を組むことは避けるべきと考えるが、外環は将来の世代にとって必要なのか。
- ・ 環境面の問題について、外環のような大深度の事業は前例がないのに確信はもてるのか。
- ・ 外環の維持管理費はどれ位か。
- ・ 外環ノ 2 の予算はどうなっているのか。

回答者

(国)

- ・ 将来世代のことを考えた予算編成は重要であり、国会での予算審議では、そのような点も検討されるものと考えている。
- ・ 環境への影響については、環境影響評価において、現在の技術として一般的な手法で予測を実施している。また、東京都の環境影響評価条例に基づいて、事後調査を実施し検証する。
- ・ 維持管理費は費用便益分析において、類似路線を参考に年間約 50 億円と見込んでいる。

(東京都)

- ・ 外環ノ 2 については、現在の都市計画の幅で道路や緑地を整備、都市計画の区域を縮小し道路などを整備、代替機能を確保した上で都市計画を廃止、の 3 つの方向性を示している。その必要性やあり方については、関係する区市ごとに地元の方々との話し合いの場などを設け、それらの意見を踏まえて、都市計画としてのとりまとめをしていく。したがって現時点で事業などに伴う予算は計上していない。

以上